

株主の皆様へ

第59期中間期

株主通信

2026年 春 号

2025年10月1日から
2026年3月31日まで

Circulate the possibilities

資源の可能性を再発見し、循環させる。

証券コード 5724

JPX STANDARD TOKYO

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門

ASK 株式会社アサカ理研

Circulate the possibilities



代表取締役社長　**山田 浩太**

ビジョン2034とその先に続く社是実現を見据え 新規事業の開拓とポートフォリオの再構築に挑みます

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループは「豊かな創造性を発揮し、社会貢献を果たす」を社是として掲げ、まだリサイクルという概念が社会に浸透していない時代から環境保全や資源の有効活用に取り組み、発展してまいりました。物価上昇や地政学リスクの高まりなど、昨今は目まぐるしく社会が変化し、将来への不透明感が強まる中、継続的に企業価値を向上させていくためには、事業環境の変化に適切に対応していく必要があります。

当社グループは社是実現に向けた指針として、ビジョン2034を策定し、中長期的なポートフォリオの再構築を進めております。貴金属事業を中心とした既存事業の収益力強化と新規事業であるリチウムイオン電池（以下、LiB：Lithium-ion Battery）再生事業の早期開始により、2034年度の営業利益30億円、ROE15%の達成を目指しております。

Q1.2026年9月期中間期の事業環境を教えてください

主要製品である金の価格は地政学リスクの高まりによる安全資産としての需要等の要因により、前年同期を大きく上回りました。銅の価格は生産国からの供給不安やAI普及に伴うデータセンター建設等の需要により前年同期を上回りました。

一方で中東情勢の不安定化によるサプライチェーンの混乱により、石油製品等に長納期化や価格の高騰が発生しております。事業への影響を最小限に抑えるべく調達先の分散等の対応を進めてまいります。

Q2. 事業運営の注力点を教えてください

貴金属事業においては、回収した貴金属をお客様のニーズに沿った材料に加工して返却する等、当社の技術力を活かした多様なビジネススキームの提案に注力いたしました。また、製造工程の効率化によるコスト低減にも継続的に取り組んでおります。

LiB再生事業においては、プロセスのさらなる安定化及び生産効率の向上を目的とした研究開発を継続しております。並行して、量産プラントの工事と生産設備の導入を進めております。

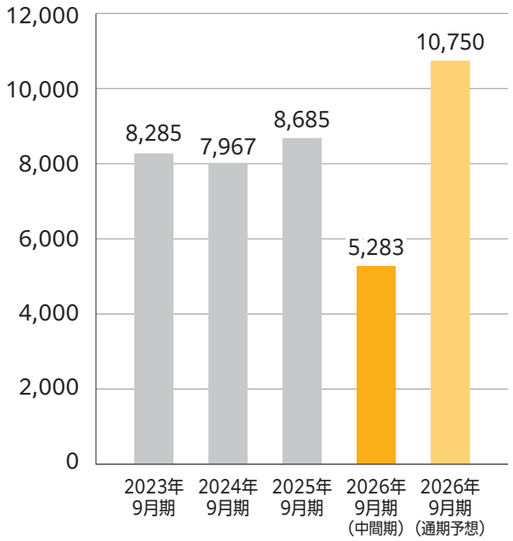
連結財務諸表

2026年9月期中間期は前年同期比で大幅な増収増益

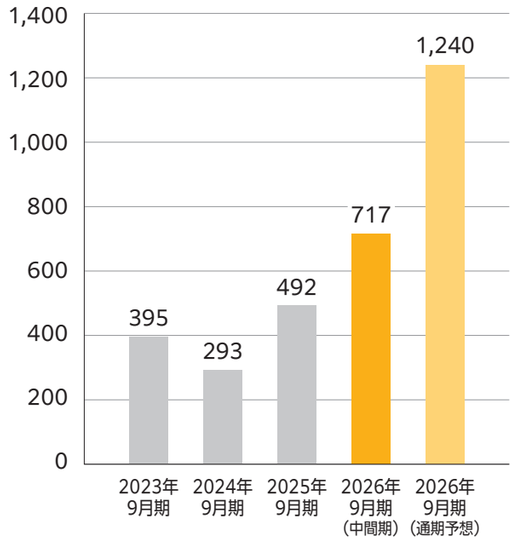
直近の業況を踏まえ、5月15日に通期連結業績予想を上方修正しております。

百万円（百万円未満切り捨て）

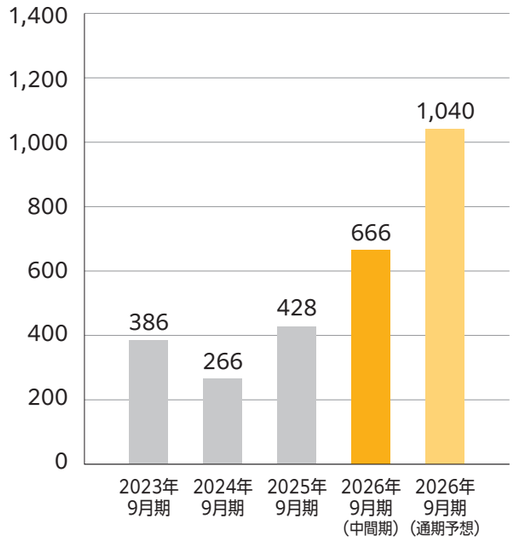
■ 売上高



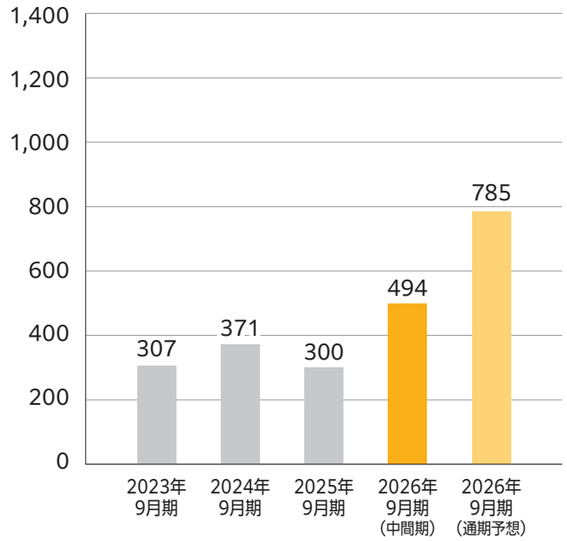
■ 営業利益



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益



【2026年9月期中間期の概況】

外部要因

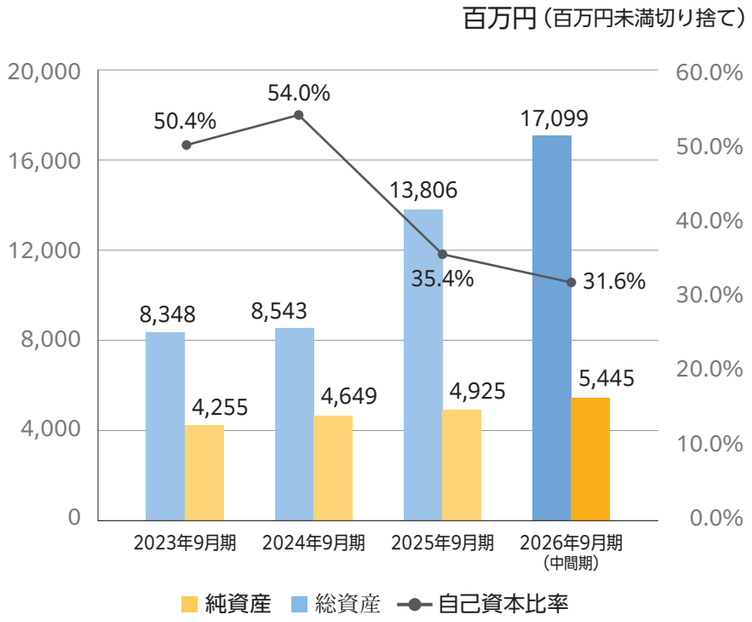
- 金や銅の相場上昇により売上高および利益額が増加
- 貴金属事業の主要取引先である電子部品メーカー様の生産動向が前年同期と比較して緩やかに改善したことで当社の貴金属の取扱数量が増加

内部要因

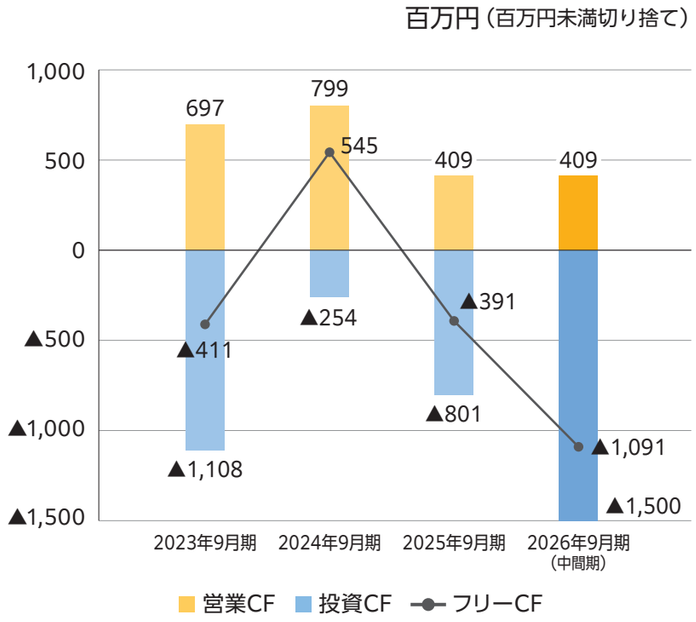
- 貴金属事業における新規スキームの提案による貴金属の取扱数量の増加
- LiB再生事業の研究開発費およびいわき工場の稼働開始に向けた整備費用により販管費は前年同期比で増加

連結財務諸表・配当

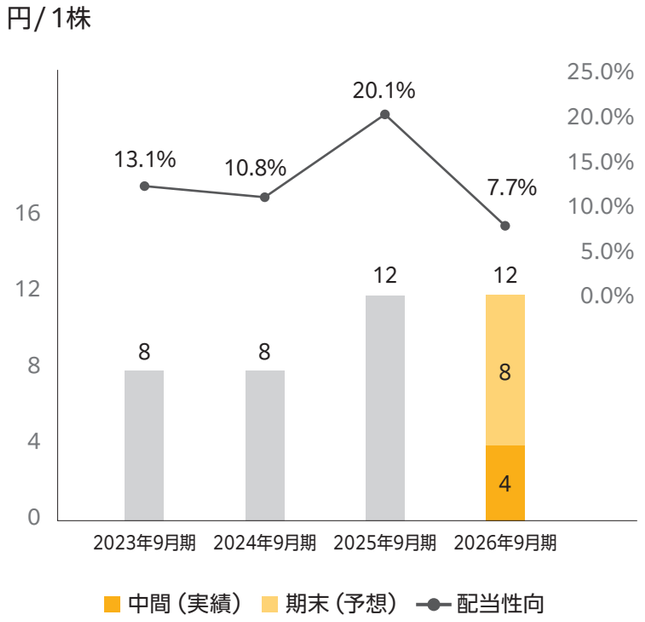
■ 総資産、純資産、自己資本比率



■ キャッシュ・フロー



■ １株当たり配当金



【2026年9月期中間期の概況】

財務状況

- LiB再生事業の設備投資資金の借入実行に伴い総資産が増加し、自己資本比率が低下
- 金相場の上昇による製品や仕掛品在庫の評価額の上昇も総資産増加の要因
- LiB再生事業への設備投資によりフリー CFはマイナスに

株主還元

- 2026年9月期より中間配当と
  1株当たり年間8円の下限配当を導入
- 中間配当実績4円、期末配当予想8円

セグメント別実績

貴金属事業




<主要製品>
- 金地金

<主要サービス>
- 各種治具の洗浄·再生
- 貴金属回収精錬処理

電子部品メーカーや歯科関連業界などから、金·銀·パラジウムなどの貴金属を含む材料を集荷し、独自技術で分離·回収しています。回収した貴金属は精製し、刻印を施して販売します。

また、お客様から成膜装置部品をお預かりし、それらに付着した貴金属を洗浄·回収する事業も行っています。徹底した精密洗浄と短納期でお客様の生産ラインにおけるコスト削減と品質管理に貢献しています。

セグメント業績

主要製品の金の価格が前期を上回ったことで、売上高は4,403百万円（対前年同期18.6%増）、セグメント利益は565百万円（同420.1%増）の増収増益となりました。

環境事業




<主要製品>
- 塩化第二鉄液
- 凝集沈降剤
- 銅ペレット

プリント基板メーカーなどから使用済みの塩化第二鉄廃液を回収し、新しい液に再生する事業を行っています。この過程で副産物として銅を回収し、銅ペレットなどに加工して販売します。

さらに、廃液の再生工程で発生する塩化第一鉄液や、上下水道の排水処理等に用いられる凝集沈降剤も副産物として販売しています。これにより、廃液を再利用しながら資源を有効活用し、環境負荷を低減しています。

セグメント業績

主要製品である銅の価格が上昇したことで、売上高は741百万円（同28.7%増）、セグメント利益は64百万円（同177.5%増）の増収増益となりました。

システム事業



<主要製品>
- 品質管理システム
  （Mr.Manmos Sora）

生産·検査現場と共にシステムを構築してきた豊富な実績を活かし、検査業務の合理化·省力化を実現します。

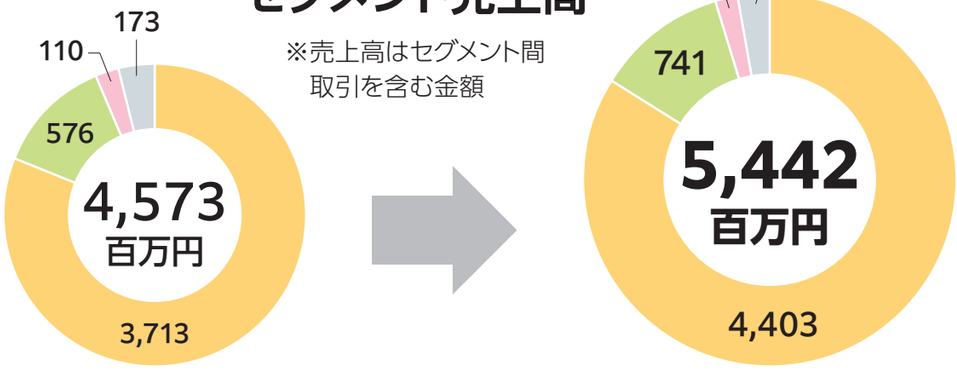
品質管理ソリューションにおきましては検査機器のデータ収集·ネットワーク化及びISO 9001 や IATF 16949 といった国際規格の品質管理体制の構築·運用を支援しております。お客様の品質管理を支援する最適なシステムソリューションを提供します。

セグメント業績

主力製品である品質管理システムの販売が増加したことにより、売上高は125百万円（同14.3%増）、セグメント利益は20百万円（同13.3%増）の増収増益となりました。

セグメント売上高

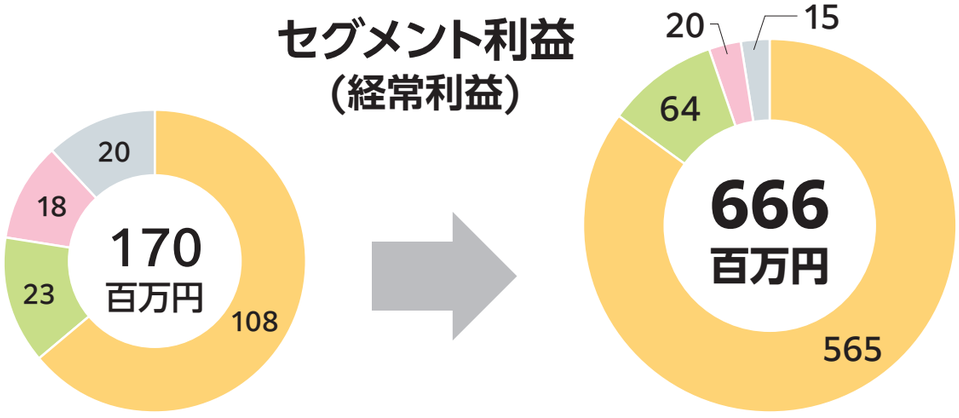
※売上高はセグメント間取引を含む金額



2025年9月期 中間期

2026年9月期 中間期

セグメント利益（経常利益）



2025年9月期 中間期

2026年9月期 中間期

トピックス

いわき工場（福島県いわき市）の新築建屋建設工事の進捗



2026年2月上旬撮影



2026年４月下旬撮影

いわき工場に新規事業であるLiB再生事業の量産プラントの建築を進めております。いわき工場の既存建屋を改築するとともに、専用建屋を新築することで、量産プラントを設営する計画です。新築建屋については基礎工事から建屋の建築工事に移行しつつあります。また、既存建屋へは生産設備の納入も進んでおり、工場竣工に向けプラントの整備が進捗しております。

郡山市中央図書館の当社コンテンツ拡充中

2025年４月より本社所在地である福島県郡山市の郡山市中央図書館のネーミングライツを取得しております。館内では当社の事業内容を紹介するアニメーションやクイズなどのコンテンツを常設展示しております。お子様から大人の方まで、幅広い年代の方に環境問題や資源循環に関心をもっていただけるように楽しく、わかりやすいコンテンツの拡充に努めております。

展示コーナーにて放映中





資源再生の重要性や当社がどのように資源をリサイクルしているのかをわかりやすく紹介しています

Information

会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地
設立年月日	1969年8月25日
資本金	504,295,600円
決算期	毎年9月30日
従業員数（連結）	262名（2026年3月31日現在）

事業内容

①貴金属事業 ／ 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売

②環境事業 ／ 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売

③システム事業 ／ 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売

④その他の事業 ／ 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役　員

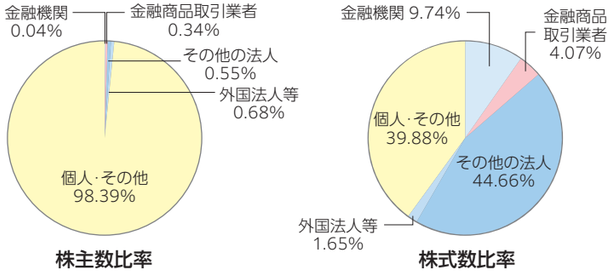
代表取締役会長	山田　慶太
代表取締役社長	山田　浩太
取締役	佐久間　良一
取締役	佐久間　幸雄
取締役	加賀美　昇
取締役	土田　剛
取締役(監査等委員長)	三崎　秀央
取締役(監査等委員)	末代　政輔
取締役(監査等委員)	市川　文子

（注）取締役 加賀美昇氏、土田剛氏、取締役（監査等委員）三崎秀央氏、末代政輔氏および市川文子氏は、社外取締役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	20,400,000株
発行済株式総数	5,144,600株 （自己株式109,757株を含む）
株主数	10,079名

所有者別分布状況



（注）上記比率は、当社保有の自己株式（109,757株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
配当金受領株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日
定時株主総会	毎年12月
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載URL https://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル·コーポレーション	2,102,060	41.75
株式会社常陽銀行	180,000	3.58
株式会社東邦銀行	162,200	3.22
日本生命保険相互会社	145,000	2.88
東京中小企業投資育成株式会社	100,000	1.99
楽天証券株式会社共有口	66,600	1.32
アサカ理研社員持株会	57,948	1.15
白岩　政一	57,000	1.13
野村證券株式会社	37,300	0.74
山田　慶太	35,494	0.70

（注）当社は自己株式（109,757株）を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120ー232ー711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部

（注1）株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

（注2）未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。